

## 第5回 第2期中海自然再生協議会議事録

日時 平成21年12月19日(土) 13:00~17:00

場所 鳥取県西部総合事務所 講堂

協議会に先立って、この冬になって中海にオゴノリが繁茂し、風によって沿岸域に打ち寄せられ、腐敗してアサリなどに大きな影響を与えている現状が緊急報告され、その後に推進の柱3「水鳥との共存とワイズユース」に関して、中海・中海周辺における野鳥・魚および野生生物の現況についての情報交流を目的に以下のように中海自然再生勉強会が行われた(13:00~14:45)。

環境省中国四国地方環境事務所「中海におけるカワウの生息状況調査」

米子自然環境事務所 自然保護官 松本英昭

島根県「希少野生動植物の保護に関する条例(案)」

環境生活部自然環境課 自然保護グループ グループリーダー

田部 欽也

鳥取県 公園自然課 課長補佐 山本 進

水産試験場沿岸漁業部 研究員 太田 武行

次いで、高安会長の司会のもとで、議事を行った(15:00~16:30)。

「議事要約」

### 1. 専門家会議からの検討結果の報告および討議

中尾専門委員から、専門家会議はそれぞれのについての検討を行うとともに、なるべくおおくの提案が実施計画にまであがってほしいというのが基本的なスタンスであることが述べられ、審議状況が報告された(専門家会議のコメントはHPに別途掲載)。

### 2. 別実施計画の概要と作成の進捗状況と今後の進め方

幾つかの課題について提案者から説明がなされ、討議を行い、実施計画作成に移行するもの、今後さらに検討する課題への分別を行った。

報告

次回協議会の日程(3月6日)、西日本自然再生協議会の集い(21年12月、阿蘇で実施)への参加、についての報告がなされた。

上記の報告の後、16:30~17:00に第3分科会(環境学習)および第4分科会(飯梨川流域関係)が持たれ、会を終了した。